

岡山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成30年11月30日(金) 本部棟3階 入札室	
委員	委員 山崎 雅弘 (大学教授) 委員 板野 次郎 (弁護士) 委員 小橋 仙敬 (公認会計士)	
審議対象期間	平成29年1月1日～平成30年3月31日	
抽出案件(合計)	10件	<p>(備考) 入札監視委員会設置要項にのっとり、互選により山崎委員が委員長に再任された。</p> <p>今回の審議対象期間においては、再苦情の申し立て及び同審議依頼はなし。</p>
建設工事(小計)	8件	
一般競争入札(WTO)	0件	
一般競争入札(上記以外)	8件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	2件	
公募型プロポーザル	0件	
簡易公募型プロポーザル	2件	
標準プロポーザル	0件	
競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

別 紙

意見・質問	回 答
<p>1. 岡山大学において発注した建設工事について [資料1] [資料2]</p> <p>特になし</p> <p>2. 岡山大学において発注した設計・コンサルタント業務について [資料3] [資料4]</p> <p>特になし</p> <p>3. 審議対象工事等に関する点検事項について [資料5] [資料6]</p> <p>点検事項①一者応札の案件である[資料6-1]「(三朝)惑星物質研究所等災害復旧工事」について、過去に惑星物質研究所の同様の工事があったように思うが。</p> <p>点検事項①一者応札の案件である[資料6-2]「(医病)基幹・環境整備(自家発電設備整備等)工事」について、2回入札を行っているが、これは1回目の入札価格が高すぎたということか。</p> <p>予定価格は公表しているのか。</p> <p>4. 審議対象工事等(抽出案件)について [資料7]</p> <p>[資料7-1]「(医病)中央診療棟改修機械設備工事」について、入札参加者は、他の参加者が何者いるかはわからない状況なのか。</p>	<p>平成28年10月に惑星物質研究所の耐震改修工事を行っていた。その最中に鳥取地震が起き、本工事の発注に至った。</p> <p>1回目の入札価格が本学が設定した予定価格を上回ったため、2回目の入札を実施した。</p> <p>開札時には公表していない。最終的に契約後に公表している。</p> <p>そのとおり。相手がいるかどうかはわからない状況である。2回目の入札の際に1回目の最低価格を示して、それ以下の価格を入れてもらうことになる。ここで、最低価格を提示した参加者以外は、自分以外に参加者がいることがわかる。</p>

	<p>予定価格に達するまで入札を行うことになるが、入札は原則2回までとしている。しかしながら、競争者がいる間や予定価格との金額差によっては、執行者の判断で2回以上入札を行うこともある。</p>
<p>入札はシステム上で行うので、参加者と顔を合わせることはないのか。</p>	<p>そのとおり。ただし、電子入札システムの不具合等で紙入札になる場合は顔を合わせることもある。</p>
<p>入札回数が多すぎるとよくないのはどういった理由からか。</p>	<p>業者に対して何度も価格を下げることを求めることになるため。</p>
<p>[資料7-2] 「(医病) 基幹・環境整備(自家発電設備整備等) 工事」について、「総合評価落札方式 実績評価型(施工体制確認型)」となっているが、「施工体制確認型」とはどういうものか。</p>	<p>2億円以上の工事を「施工体制確認型」としている。入札説明書等に記載された要求要件を確実に実現できるかどうかを確認するものである。</p>
<p>[資料7-3] 「(津島) 総合教育棟等改修(一般教育) 工事」について、本工事が点検事項にも該当しているのは、1回目の入札で落札率が高いからなのか。</p>	<p>1回の入札で予定価格に近い価格での落札となったため点検事項に該当しているが、他業者の入札価格を見ても近い金額となっており、特に問題ないといえる。</p>
<p>[資料7-4] 「(津島) 自然科学系総合研究棟外壁等改修工事」について、低入札調査においては過去の実績も評価されるのか。</p>	<p>はい。落札業者は、本学での実績もあり、また防水・外壁専門業者であるため安い価格でも実施できると判断した。</p>
<p>[資料7-5] 「(津島) 桑の木留学生宿舍集中検針装置改修工事」について、CORINSとは何か。</p>	<p>公共機関が発注する工事の実績登録システムであり、500万円以上の公共工事は登録の義務がある。本学では必要最低限の実績を求める場合には、資格要件として設定している。</p>
<p>[資料7-6] 「(津島) 一般教育E棟トイレ改修工事」について、不落随契に移行する場合としない場合との違いは何か。</p>	<p>本件では入札を3回行い、その時点で応札者が1者となり予定価格との差も大きかったため、4回目の入札を行っても落札は厳しいと判断し不落随契に移行した。応札者の数や、予定価格との差によって判断することとなる。</p>
<p>不落随契は、仕様も調整しながら金額の交渉を行うのか。</p>	<p>仕様の変更は行わない。お互いの価格の乖離が有る部分について、見直し、交渉行う。</p>
<p>[資料7-8] 「(津島) 工学部4・6</p>	<p>本工事は照明器具の取替であり、調達できる</p>

<p>号館照明器具改修電気設備工事」について落札率が56.9%となっている理由は何か。</p>	<p>業者は材料の大量購入により安く調達出来るため、予定価格と実際の価格との乖離がある。</p>
<p>[資料7-9] 「(津島)総合教育棟改修(一般教育)設計業務」について、「簡易公募型プロポーザル方式(拡大)」で評価する技術力とはどういった点を評価するか。</p>	<p>技術者の経験年数・実績などの数字的なものの評価と、業者が提出する「技術提案書」の内容を評価するものがある。</p>
<p>5. 平成29年度(平成29年1月~平成30年3月)指名停止について [資料8]</p> <p>特になし</p> <p>6. その他</p> <p>次回は、平成31年6月頃の開催とする。</p>	